

役に立つ! アート鑑賞の可能性

— 美術教育・ビジネス・医学教育の現場から

8/24(日)
14:00-15:30 | 13:30開場

ななめ大学におけるワークショップの様子 2024年



対話型鑑賞の様子、獨協医科大学×宇都宮美術館 2024年



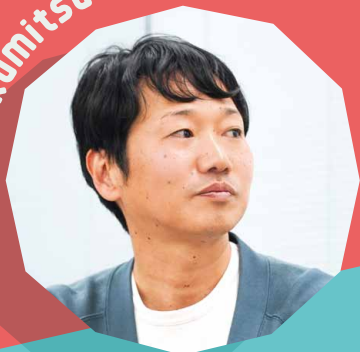
KANSHOさん、北野美術館「KANSHOさんと鑑賞デビューしようツアー」 2024, 25年



心理学の視点からアートの学びや創造を研究する縣拓充さん、美術ファンやビジネスパーソン向けに鑑賞講座を展開する佐藤悠さん、そして、医学教育に対話型鑑賞を取り入れている森永康平さんを講師に迎え、実践的な事例を紹介する報告会を開催します。いま広がりを見せる多彩なアート鑑賞法とその意外な効果や背景を知ること、アート鑑賞を日常や仕事に活かすヒントがきっと見つかります。

- 講師：縣 拓充(教育心理学、認知科学/千葉大学 大学院国際学術研究院准教授)
佐藤 悠(アーティスト、鑑賞プログラマー)
森永康平(内科医師/獨協医科大学 非常勤講師、ミルク代表)
- 場所：宇都宮美術館 講義室
- 定員：先着170名
- ※申込不要、入場無料 ※企画展もしくはコレクション展のチケットが必要です。

Takumitsu AGATA



縣 拓充

(教育心理学、認知科学/千葉大学 大学院国際学術研究院准教授)

主に教育心理学・認知心理学的なアプローチから、1)創造性、2)アートを通じた学び、3)ミュージアムにおける学び、の理解と支援に向けた研究を行っている。2023年からは、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(「ボスコロSIP」)の受託を受け、アーティストを含めたさまざまな人がそれぞれの視点を持ち寄り、互いに触れ合えるような学びのプラットフォームを構築する、「ななめ大学」という研究プロジェクトを展開している。

YU SATO



佐藤 悠

(アーティスト、鑑賞プログラマー)

一見何も無いところから、表現が紡ぎ出される現場を作っている。地域などに滞在し、協働でプロジェクトを行う他、パフォーマンス、レクチャー、ワークショップなど、様々な表現の場や機会に応じて発表。主な作品に、一枚の画面に絵を描きながら、参加者と即興の物語を作るパフォーマンス「いちまいばなし」などがある。2018年宇都宮美術館での実施をきっかけに、近年は美術鑑賞プログラムの開発に力を入れており、美術館、教育施設、企業等で実践を行っている。

Kouhei MORINAGA



森永 康平

(内科医師/獨協医科大学 非常勤講師、ミルク代表)

内科医として病院の初診外来で診療する傍ら、絵画や彫刻、マンガなど広くアート作品を題材に「対話型鑑賞」の手法を取り入れたプログラムを医学教育に導入。作品の鑑賞や共有を通じて、臨床現場に直結する観察力・言語化能力・コミュニケーション力の育成を目指している。現在は栃木県立美術館・宇都宮美術館と連携した医学生向けギャラリートークも展開。講演・執筆活動を通じて、診療現場を超えたアート基盤型教育の効果을提案している。

